富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和5年3月号
No.249

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL　076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

啓蟄の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝いたします。

今月の掲載は、皮膚科、泌尿器科、心臓リハビリテーションチームの紹介です。

診療科の紹介　皮膚科

皮膚科外来スタッフ
後列左から　木田医師、志田皮膚・排泄ケア認定看護師、石井部長
前列左から　澤井看護師、八田部長、西尾医師

外来受診表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診	八田*	八田	八田	手術	八田	手術	八田*	手術	八田	
再診	石井	石井	石井		石井		石井		木田	石井
再診	木田	西尾	西尾		西尾		西尾		西尾	西尾

＊初診開始10：00から

◆診療体制

富山県立中央病院の皮膚科は、2023 年現在、八田尚人部長、石井貴之部長、西尾次郎医師、木田尚子医師（皮膚科専門医、非常勤）の４人で診療にあたっています。

初診は毎日午前、月・金の午後は専門外来、火・水・木の午後および金の午前は手術日です。できるだけ待ち時間のないよう努力しておりますが、ご紹介の際は担当医の曜日・時間を御確認のうえ地域連携室を通じて予約されるようお願いします。

◆“痣（あざ）”のレーザー治療】

皮膚科では皮膚の“痣（あざ）”に対するレーザー治療を行っています。対象疾患としては

・太田母斑
・異所性蒙古斑
・後天性真皮メラノサイトーシス
・扁平母斑
・外傷性刺青

などがあります。これらの疾患については保険適応にて治療が可能です。先天性色素性母斑（生まれつきの“ほくろ”）については大型の病変については治療対象となりますが、後天性の老人性色素斑（しみ）や色素性母斑（1cm 以内の小さな“ほくろ”）については、当院では治療対象外ですので、ご注意下さい。

レーザー治療には Q スイッチ付きルビーレーザー（エムエムアンドニーク社 IB101）を使用しています。ルビーレーザー治療では 694nm という特定の波長の光線を患部に照射します。レーザー光はメラニン色素に吸収され、色素が選択的に破壊されることで“あざ”の色調を薄くします。レーザー出力が強いほど、照射時間が長いほど治療効果は出やすくなりますが、周囲の健常組織のダメージも強くなり、いわゆる“レーザー痕”が残りやすくなります。IB101 では 2 種類のレーザー照射時間（パルス幅：Q スイッチモードと短パルスモード）が設定できるため、様々な病変に臨機応変な対応が可能です。

レーザー治療には痛みが伴うことから、麻酔が必要です。小範囲の場合は局所麻酔クリームや局所麻酔テープを使用して痛みの軽減を図っています。眼囲などのレーザー時の疼痛が強いと予想される部位では局所麻酔注射薬を併用することもあります。安静の難しい小さなお子様で広範囲の病変を有する場合は、全身麻酔でのレーザー照射を行うこともあります（要入院）。治療回数は基本的に３ヵ月に１回の照射で２～５回以内が目安となりますが、“あざ”の種類や色調の濃淡によって個人差があります。具体的な治療例の一部を以下に紹介します。

◆太田母斑

20 歳代女性。眼囲・こめかみ・頬部にかけて“青あざ”である太田母斑をみとめます。Q スイッチ付きルビーレーザーを３回照射したところ、色調の消退が得られました（図1）。太田母斑はレーザー治療との相性が比較的に良いとされており、多くの患者がレーザー治療で色調の消退を得ています。

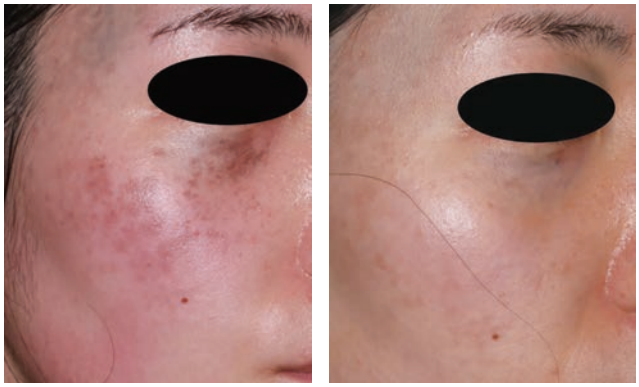


図1（治療前後）

◆異所性蒙古斑

０歳女児。上肢や体幹など全身に“青あざ”である異所性蒙古斑をみとめます。異所性蒙古斑は“異所性”という名称がついているように、生まれつき臀部にみられる蒙古斑が、それ以外の部位に生じるものです。蒙古斑が自然と薄くなるように、異所性蒙古斑も加齢と共に徐々に薄くなりますが、色調の濃い病変については完全消退が得られないため、治療対象となります。本例では広範囲病変のため、全身麻酔で３回のレーザー治療を行い、大部分の病変で色調の消退を得ました（図2）。

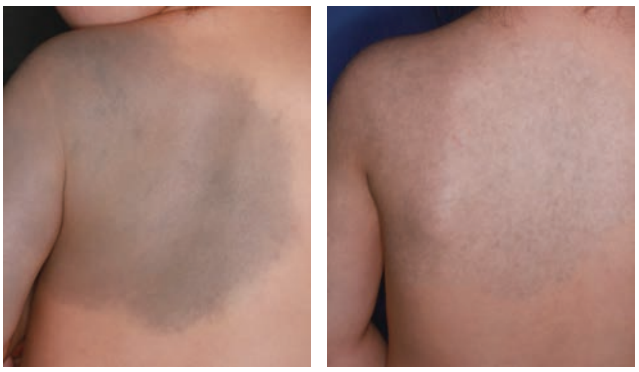


図2　異所性蒙古斑（治療前後）

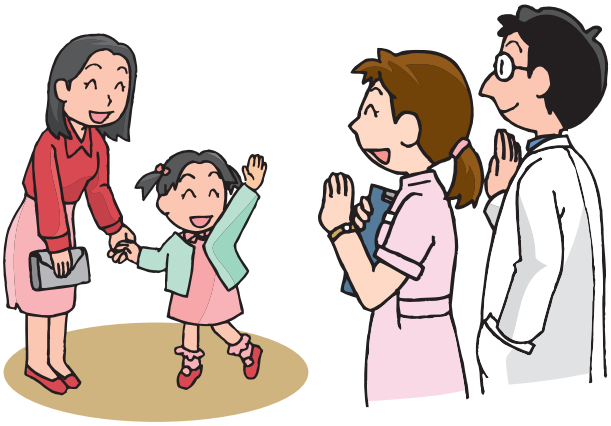
◆扁平母斑

１歳女児。顔面の“茶あざ”である扁平母斑をみとめます。扁平母斑はレーザー治療との相性が難しい疾患で、奏効率は２割から３割程度に留まります。一旦色調が消退しても再発する症例や、照射しても色調が変わらない症例もあります。本症例は局所麻酔クリームによる鎮痛処置を行って通院レーザー照射を１回行ったところ、照射部位の色調がきれいに消退し、再発もありませんでした。細かな残存病変の照射を安全に行うため、全身麻酔で再度レーザー治療を施行し、全２回の照射で色調の消退が得られました（図3）。

図3　扁平母斑治療（治療前後）

今回紹介した事例はいわゆる“青あざ”“茶あざ”が中心ですが、**2023 年度には“赤あざ”に対するレーザー治療機器を新たに導入すること**としています。これにより乳児血管腫（旧名称：いちご状血管腫）や毛細血管奇形（旧名称：単純性血管腫）などに対するレーザー治療が可能になります。これまで“赤あざ”のレーザー治療については、富山県内での治療可能施設が少なかったこともあり、ご紹介いただいた症例についてはレーザー適応を見定めて、必要時に他施設へ紹介させていただいておりましたが、今後は当院にて一貫した治療をご提供できるようになります。レーザー治療以外の治療も含め、責任もって“あざ”の治療にあたらせていただきますので、該当する症例がありましたら是非ご紹介いただければ幸いです。

（文責：石井）



泌尿器科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

癌の外科治療において、当科は腹腔鏡or腹腔鏡補助小切開orロボット支援下手術のいずれも選択可能ですが、ここ数年でロボット支援下の前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘の件数が急増しています。また癌に対する優れた薬物治療（分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤、新規ホルモン薬）を積極的に行うことで飛躍的に無増悪期間や生存率が伸びています。

良性疾患にも対応しており、尿路結石や前立腺肥大症に対し細径内視鏡やレーザーを駆使した手術により優れた効果を得ています。

末期腎不全に対する腎移植手術の歴史は北陸三県で最も古く、2022年度末までに通算157例の腎移植を行ないました。他科との密なチーム医療により全国水準の成績を上げています。

医師一人ひとりが切磋し、泌尿器科全体で情報を共有し、患者さんが等しく恩恵を受けることが出来るような体制作りを行っています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

瀬戸（せと） 親（ちかし）

【皆さんへ一言】
・自分を含め、泌尿器科全員のレベルアップを目指します

【得意分野】
・がん治療（手術、薬物）、レーザー治療、腎移植

【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会評議員、日本ミニマム創手術練達医、臨床腎移植学会腎移植認定医、金沢大学臨床教授、DaVinci Certificate

医長

島（しま） 崇（たかし）

【患者さんに一言】
・泌尿器科がん治療に全力を尽くします。

【得意分野】
・がん治療（手術、薬物）、ロボット・腹腔鏡手術

【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術制度認定医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定制度認定プロクター

医長

武澤（たけざわ） 雄太（ゆうた）

【患者さんに一言】
・親切丁寧な診療を心がけます。

【得意分野】
・がん治療（手術、薬物）、腎移植、ロボット・腹腔鏡手術

【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、臨床腎移植学会腎移植認定医、DaVinci Certificate

医師

纐纈（こうけつ） 佳樹（よしき）

【患者さんに一言】
・わかりやすい説明を心がけています。

【得意分野】
・泌尿器科一般

医師

吉田（よしだ） 司（つかさ）

【患者さんに一言】
・一人一人に寄り添った診療を心がけています。

【得意分野】
・泌尿器科一般

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診	島	瀬戸	瀬戸	瀬戸	島
再診	武澤	島	吉田	吉田	武澤
救急	纐纈	武澤			纐纈

心臓リハビリテーションチームのご紹介

私たち心臓リハビリテーションチームは、平成21年に発足し、年3回の心臓病教室と院内心臓リハビリテーションの啓蒙と発展を中心に活動してきました。平成30年には外来心臓リハビリテーションを開始しています。また、コロナ禍のため、心臓病教室中止期間中は広報紙と発行し院内から地域連携へと力を注いでいます。

心臓リハビリテーションチームとは、運動療法による身体機能や運動耐容能の改善のみならず、冠動脈危険因子の改善に必要な食事療法のための栄養指導や、服薬指導、心理士によるカウンセリング、家族に対する指導など多くの内容を含んだ包括的なものになっています。患者さん自身が治療を「受ける」だけでなく、治療に「参加する」ことで効果が高まります。

多職種の医療者が関わり、患者さんの生活の質を高め、生命予後の改善を目指しています。

メンバーは、医師（循環器内科・心臓血管外科）、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などで構成されています。

外来心臓リハビリテーションは、毎週金曜日14：00～15：00、場所は中央診療棟2階（心大血管リハビリテーション室）で行っています。予約制で、対象者は急性心筋梗塞、狭心症、開心術後、大血管疾患、慢性心不全、末梢動脈閉塞性疾患で、主治医の（循環器内科・心臓血管外科）指示が必要です。期間は、リハビリ開始から150日間以内です。

コロナ禍のため、心臓病教室の開催をひかえていましたが、昨年11月より再開しました。今後の開催日は、病院のホームページでご確認ください。

ご不明な点がございましたら、循環器内科又は心臓血管外科外来にお問い合わせください。

心臓病教室

外来心臓リハビリテーション

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

4月開催予定

★第166回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年4月6日（木）　17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年4月10日（月）　19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年4月13日（木）　19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和5年4月20日（木）　19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年4月 4、11、18、25 日(火)
　　16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

5月開催予定

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年5月8日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★第167回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年5月11日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年5月11日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和5年5月15日（月）18時30分から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和5年5月18日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和5年5月18日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★第122回　漢方症例検討会
日 時：令和5年5月19日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年5月 2、9、16、23、30 日(火)
　　16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、
環境整備を徹底して実施いたします。

2 4月の外来診療に関する医師不在日

科名	医師名	不在日
消化器内科	松田（充）医師	6日(木)
内分泌・代謝内科	吉澤医師	13日(木)、14日(金)
腫瘍内科	小川医師	7日(金)
脳神経内科	島（啓）医師	10日(月)
外科	廣瀬医師	27日(木)
整形外科	笹川医師	12日(水)～14日(金)
	山本医師	7日(金)、21日(金)
小児外科	山崎医師	21日(金)、24日(月)
産婦人科	谷村医師	7日(金)
泌尿器科	瀬戸医師	19日(水)
	島（崇）医師	17日(月)、21日(金)
	武澤医師	11日(火)、17日(月)
眼科	西野医師	26日(水)、28日(金)
耳鼻いんこう科	石川医師	7日(金)
歯科口腔外科	小島歯科医師	17日(月)
	倉部歯科医師	28日(金)
放射線治療科	豊嶋医師	14日(金)
	髙医師	14日(金)

3 地域連携室からのお知らせ

令和5年2月より「とやまPET画像診断センター」のPET/CT装置が新しくなりました。

当院は「とやまPET画像診断センター」と連携しながら、がんの診療をしております。新しいPET/CT検査の診断での精度が向上し、患者さんの治療方針に役立てることができますので、是非当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

4 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰り頂く場合があります。ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前に FAX いただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

日ごとに暖かくなり、すっかり春らしい陽気になってきました。富山県にも春一番の風が吹き、春を感じるこの頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私事ではございますが、春にしたいことの一つに、あさひ舟川の「春の四重奏」を楽しむことがあり、今から五感で春を満喫できるのを楽しみにしております。さて、写真はアカメネコヤナギです。さっそく春の訪れを感じますね。ネコヤナギの花言葉として、親切、努力が報われるなどがあります。私も花言葉のように、親切な心を大切にし、努力してまいりたいと思います。

お世話になった皆様、次年度におきましても引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

（地域連携室社会福祉士　松原美鈴）

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室

○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
　ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
　メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
　メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp